

# おさんぽ 竹崎島 びょうたん島 めぐり

海の幸、人の幸に  
出会う竹崎島MAP。  
のんびりテクテク、  
散策のお供にどうぞ♪

「竹崎瓢箪島、廻れば1里3合3尺、  
雀の3足、粟の3転び♪」

昔の人は竹崎島のことを  
「それだけ小さな島だよ」と、  
かわいく唄っていました☆

- 公共トイレ
- 建造物 他
- お地蔵さま・社寺
- 店・宿
- 駐車場
- 休憩スポット
- ここからStart!
- 釣りスポット
- ビュースポット

..... 整備中のため危険な場所もありますのでご注意ください。



魅力たっぷり竹崎島の  
3つのおさんぽコースを  
ご紹介!

- 絶景!コース
- 体感☆コース
- 満喫♪コース





絶景!歩いて楽しい!竹崎城址展望台とその周辺



竹崎城址展望台

有明海や多良岳の360度大パノラマ絶景が広がるおすすめスポットです。花と海のコントラストが綺麗で、夜は満点の星空がとてもロマンチック。敷地内にある「幸せ伝言板」に想いを綴った絵蟹を結びましょう。(漁具資料館も併設)



主に月・火が休館



町内の旅館等で販売中!【1枚200円】



竹崎城址

歴史

約600年前の南北朝時代に島原の有馬泰隆が築城した竹崎城。今残っているのが石垣の一部くらいで、現在の竹崎港前(基高商店)あたりの番所跡まで濠がありました。

散歩や遊び場もたくさん!

体感☆火山のパワースポット島 竹崎島



竹崎観世音寺と関連伝説

709年、行基様によって開かれたとされる竹崎観世音寺は航海安全等の鎮護として崇敬され、境内には歴史的価値のある石造物が並びます。有明海に流した霊木が流れ着いたところを探して行基様。その場所を二頭の夫婦鹿が案内したと言われ、そこが竹崎島の「観音ほき」と呼ばれています。行基様が霊木で彫った千手観音像は竹崎観世音寺の本尊として祀られ、彫った場所は「塔の元」と言い、現在、地藏尊が建てられています。その側では水が湧き出、行基様はお水を汲んだり布を洗ったりしました。その場を「布川(ぬのかわ)」と名付けられ、現在の土地名になりました。

火山の噴火できた島の神話とパワー!



夜燈鼻灯台遊歩道

やとらばなとうだいの夜燈鼻灯台遊歩道



穴場スポット

灯台横に整備された遊歩道を歩くと、有明海断崖近くに設置された休憩所に、波の音だけを聞く日常を忘れる時間を。

夜燈鼻海岸

やとらばな夜燈鼻海岸



水々の合間の遊歩道を下ると、そこは海!波の音だけで、貝殻やソーダス強しもおすすめ。

草スキー

無料



お子さまと一緒に草スキー!通の地元っ子は、ロウソクをソリの裏に塗ってスピードアップ!

遊び場

ニマ



石造六地藏塔



傑作

室町時代の趣を湛えた傑作の塔で、優しいお顔をされた地藏様を一つ一つ拝礼しながら石段を上がると観世音寺があります。



見渡す風景

観世音寺から見渡す竹崎の風景はとても美しく、歴史を感じながら、ゆったりとした静かな時間を過ごすことができます。



鹿大明神

道案内をした夫婦鹿は永く子孫が栄え、現在、鹿大明神として鹿山神社で祀られています。(地元ではジャミジンサンと親しまれています)

海の最高神

金比羅大権現(竹崎稲荷公園)



昔は子供たちの遊び場でしたが、災害により崩れ、現在は訪れる人は減少。稲荷大明神拝殿の奥には稲荷大明神祠がありさらに稲荷山頂上には漁業の神様・金比羅大権現が見守るように鎮座しています。毎年春に金比羅山祭りにて祀られている海の最高神です。

満喫♪のんびり散歩 竹崎港周辺

のんびり散歩

潮風が心地よい港の風景



竹崎港

竹崎は全国に誇る海産物を運ぶ港として、今日も賑わっています。周りには、水揚げ場や、海の守り神とされる八大龍王宮の祠などを見ることができます。出港・帰港する漁船のエンジン音が港に心地よく響きます。

八大龍王祠

隠れ名所

赤岩島(通称あかいわさん)



赤岩島(通称あかいわさん)

昔は海辺だった竹崎港周辺。この赤岩島も海にあり、子供たちは海中の“あかいわさん”の穴をくぐって遊んだりしていました。赤岩島の上には毘沙門天様と恵比寿様、竹崎漁港修築記念碑があります。毘沙門天様の頭には白蛇が巻いてあり、より位の高い神様であることが伺えます。



穴場スポット

竹崎農道



竹崎農道

上から竹崎島を一望でき、きれいな景色が広がります。火山島の竹崎の土は赤土で、とても美味しい芋類や野菜が収穫できます。

多目的スペース

竹崎浄化センター前広場



吹き抜ける潮風とトンビの鳴き声。そして、帰港する漁船の心地よいエンジン音。有明海と雲仙普賢岳と目を向けながら歩けば、ゆっくりとした時間を過ごせます。子供も大人も楽しめる広場です。



遊具もあるよ!

竹崎渡り口の楯石と悲恋話の比翼塚



悲恋物語

竹崎島の入口には、大昔の噴火によってできた巨石があり、「渡り口の楯石」と呼ばれています。約30mの長さの列状をなす巨石群の上にある2基の比翼塚。のちに僧侶となる柳川藩の若武者と許嫁であった若姫の悲恋を憐れみ築かれた、2つの墓が寄り添うように並んでいます。

他にもイロイロ!竹崎の魅力はコチラから

